



にじいろ通信 No.38

発行:社会福祉法人健翔会 にじいろ
 所在:埼玉県行田市忍 1-11-1
 TEL:048-598-5252 FAX:048-501-6031
 責任者:にじいろ管理者 齋藤真知子
 MAIL:nijihiro@kenshokai.net

「にじいろ」は児童福祉法により、通学している障害児に対し放課後等に日中活動を提供する健翔会の第3号事業所です。

いつもの生活に戻るまで、今は工夫の時です！！

にじいろのご利用について 定員10名 早めに声を掛けてください！

「自粛中の活動」

児童発達支援管理責任者 齋藤真知子

新型コロナウイルスの感染防止の影響は大きく、2月からもう3ヶ月の間、子ども達の学校生活だけでなく、仕事や日常生活に大きく影響を及ぼしています。そんな中、自宅で自粛されている児童のご家族の方から、アニメーションを作ったので見てほしいというお電話をいただきました。自分で書いた絵と文字とアイロンビーズを動かしたら100枚以上の静止画をつなぎ合わせて作ったものでした。それはそれは素晴らしいもので楽しく拝見させていただきました。その労力を思うと感動してしまいました。自粛の生活はどうか？とお聞きすると「家で生活は好きな事をやっているの充実しています」とおっしゃってしまし



4/8ナス・トマト・ピーマンの夏野菜の苗を植えました。優しく土の布団をかぶせませす。大きくなあれ。夏に野菜を収穫するのが楽しみです。



にじいろで、今流行っているのは、アイロンビーズです。好きな形を作っていくのが楽しくて、時間を忘れて夢中になっています。作り上げたキャラクターを家族に見せてあげたいと言い、ますます製作に力が入



僕たちは粘土に夢中です。伸ばして切って、丸めて作り上げた自慢の作品を見せてくれます。素敵な才能が見え隠れする時間なので、職員も楽しいです。

た。他のご家族も人の少ない時間に散歩に出かけたり、規則正しい生活リズムになるように時間の割り振りを工夫している方もいます。逆にこんな時だから、子どものペースで力を抜いてのんびりと過ごす方もいらっしゃいます。各ご家庭で、自粛による過ごし方の工夫をされているようです。

にじいろでも、手洗い・消毒・換気等様々な感染防止対策をとりながら、通ってくる子ども達が安全に過ごす工夫をしています。でも、うずうずして外に行きたい子ども達ばかり。そんな時は子ども達と、利根川の土手の散歩をしています。話をしたり、虫をさがしながらたくさん歩きます。また、大地の畑や職員の畑で農作業体験をしています。許される範囲で行動できるよう工夫しています。制約された中ですが、子ども達の元気な笑顔と行動に癒され、元気をもらっている私達です。無理せず、できる事を行っていきましょう！！



マルチシートに穴をあけて苗を植える準備をしました。初めての経験です。



キックバイクに挑戦。練習で少し自分で動かせるようになりました。さすがで



土手にはたくさんの虫がいるんだよ。今日はどんな虫がいるかな～。

- ★5月のにじいろ 15日:理科実験「シャボン玉実験」20日:レクリエーション「ミニゲーム大会」
29日:段ボールオリンピック第4弾「射撃」
- ★にじいろで欲しいもの タブレット プラレール ぶら下がり健康器 レゴブロック アイロンビーズ
- ★ありがとうございました 手島様:本・アイロンビーズ 村上様:文房具 須加様:パイナップル、お菓子